

芸術文化の振興について

令和 8 年 7 月 2 9 日



Hyogo
Prefecture

県民生活部文化スポーツ局芸術文化課

目 次

1	芸術文化振興ビジョン	・ ・ ・ ・ ・	3
2	芸術文化の創造と普及	・ ・ ・ ・ ・	4
3	芸術文化施設の運営	・ ・ ・ ・ ・	13



本県の芸術文化振興の取組方向を示す「芸術文化振興ビジョン」(H16～)について、時代潮流の変化や検証等を踏まえ、令和8年3月に「第4期芸術文化振興ビジョン」を策定

基本目標 『芸術文化立県ひょうご』

～誰もが芸術文化に親しみ、芸術文化の力で躍動する兵庫の実現へ～

計画期間 令和8～令和12年度（5年間）

基本方針

- 1 芸術文化を創造・発信する
- 2 芸術文化の“場”を育て広げる
- 3 文化力を高め、地域づくりに活かす
- 4 みんなで支え、総合的に取り組む



時代潮流、検証等

【取り巻く環境の変化】

- ・人口減少・少子高齢、部活動の地域展開
- ・コロナ後の行動変容、芸術文化の再評価
- ・物価高・円安、米国関税問題
- ・アフター万博、神戸空港の国際化
- ・県民会館の閉鎖、県庁舎の再整備 等

【現行計画の検証と課題】

- ・若者世代の活動機会の確保
- ・神戸・阪神間とその他の格差
- ・豊富な地域資源の更なる活用
- ・更なる寄附の促進 等

重点取組

重点1

若者世代の活動支援と担い手の育成

（若年層の活動支援、子ども・若者の体験機会の充実、積極的な動画活用 等）

重点2

誰もがどこでも芸術文化に親しめる環境構築

（地域格差是正（アトリチ等）、障害者芸術の充実、外国人への支援 等）

重点3

芸術文化資源を活かした地域活力の喚起

（シビックプライドの醸成、日本遺産等の活用、観光・地域活性化への活用 等）

重点4

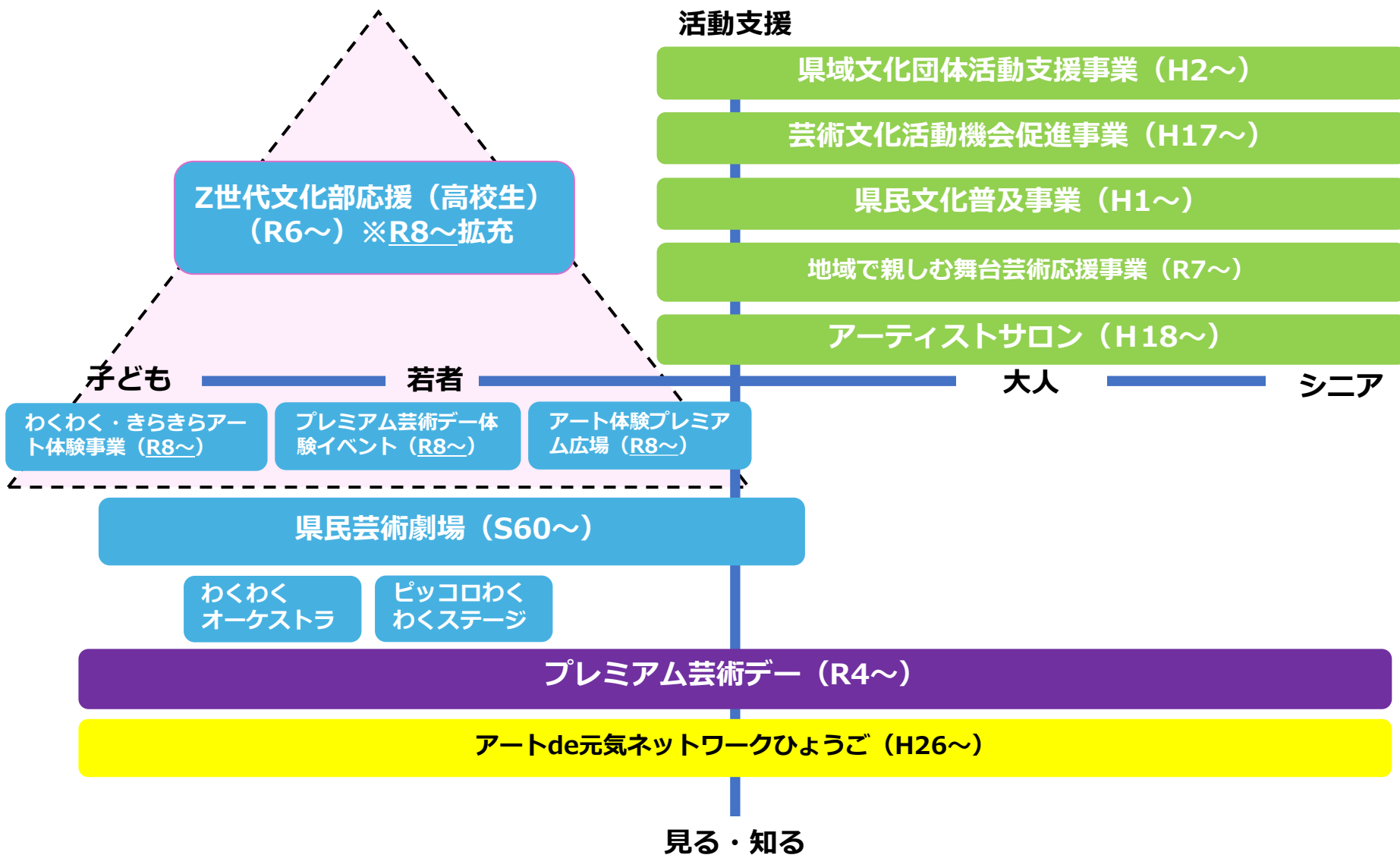
持続可能な芸術文化環境の構築

（市町との連携強化、新たな寄附手法導入 等）

成果指標

①芸術文化に接する機会がある	50%(令和6実績 39.2%)	②自慢したい地域の宝がある	65%(	〃	40.9%)		
③この1年で芸術文化を鑑賞した	90%(	〃	88.1%)	④この1年で芸術文化を自ら行った	55%(	〃	39.9%)

令和 8年 3月に策定した「第4期芸術文化振興ビジョン」を踏まえ、芸術文化活動に対する支援や、優れた芸術文化の鑑賞・体験機会を提供することにより「芸術文化立県“ひょうご”」の実現に向けて芸術文化の創造と普及を図っていく



①【拡】ひょうごプレミアム芸術デー

(16,257千円) 【R4～】

ア 概要

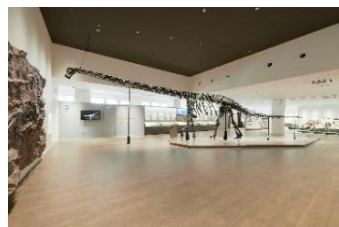
県民の誰もが気軽に芸術文化に親しめるよう、夏休み前の1週間、県内の美術館・博物館等の無料開放や体験イベントを実施

- ・「鑑賞体験」+「**芸術文化を直接体験する場**」
- ・地域別・目的別で**情報検索できるサイト**を構築

■実施期間 令和8年7月9日(木)～7月15日(水)

■参加施設 114施設

【今年度からの
参加施設例】



たんば恐竜博物館（丹波市）



豊岡市立美術館-伊藤清永記念館-(豊岡市)

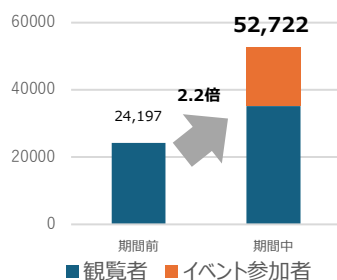


7/9オープニングイベント

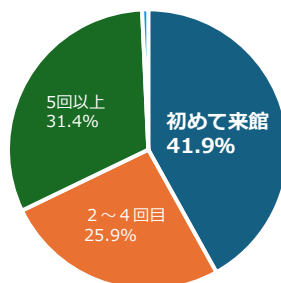
イ 実績

プレミアム芸術デーを契機に、幅広い年齢層の方が県の多様な芸術文化に親しんでいる。

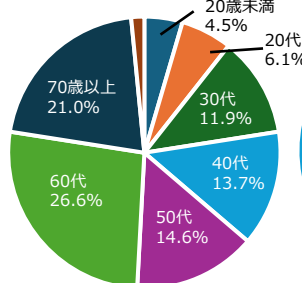
観覧者数増加率(前週比/R7実績)



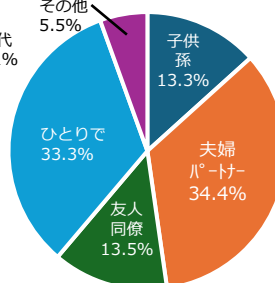
施設への来館回数
(R7アンケート結果)



来館者年齢層
(R7アンケート結果)



来館者の構成
(R7アンケート結果)



ウ 誰もが芸術文化に親しむための取組

ハートフル・ファストトラック
(県立美術館)

一時保育の実施
(県立美術館など3施設)

触れる展示
(県立美術館など8施設)

手話通訳付き解説会
(県立美術館など2施設)

ナイト・ミュージアムの開催
(県立美術館など3施設)

字幕付き映像上映
(横尾忠則現代美術館など4施設)

自由に話せる観覧日の設定
(県立美術館など6施設)

エ 芸術文化を直接体験できる場の創出

こども学芸員とつくる「夏のこども美術館」(兵庫陶芸美術館)

小・中学生が学芸員となり、兵庫教育大学生などと協力しながら展示を一から企画。

「展覧会を構想段階から企画する」、「所蔵作品の紹介や解説をする」などの体験を提供。

- ◆展覧会期間：6/27(土)～9/6(日)
※7/9(木)～15(水)無料開放
- ◆6/27(水) こども学芸員による展示解説を実施

「なつやすみ演劇ワークショップ
withピッコロ劇団」(尼崎青少年創造劇場)

演劇の手法を使って、こども達に
「心と体を動かして『表現』を楽しむ」体験を提供

- ◆実施日：8/18(火)～20(木)
- ◆対象：小学校4年生～高校生
- ◆定員：15名程度(要事前申し込み)



「芸文センター公演ライブ配信(実証実験)」

芸文センター公演のライブ配信により、阪神間以外の地域に住む子供たちなどが、コンサートを体験できる機会を提供

- ◆実施日：8/29(土) SKO公演を配信
- ◆場所：丹波篠山田園公共ホール
- ◆定員：400名(無料実施)



②【拡】アートで躍動Z世代文化部応援プロジェクト

(8,853千円) 【R6～】

若者・Z世代の文化活動を支援するため、高校生文化部フェス、文化部の合同練習会を実施

文化部合同練習会

■趣旨・目的

活動のスキルアップや他校との交流を促進

■対象

県内の高校文化部に所属する高校生

■内容

専門分野の講師派遣

対象分野に**サブカルチャー等**を追加（拡充）

■R7実績

- ・ 県域文化団体講師が、高校等において指導
- ・ 回数：合同練習会7回、単独練習会32回
- ・ 分野：吹奏楽、合唱、弦楽・オーケストラ、書道、演劇、写真、日本画、茶道、いけばな
- ・ 場所：各高校等
- ・ 時期：令和7年7月～令和8年3月



【茶道】



【日本画】



【写真】

高校生文化部フェス in HYOGO

■趣旨・目的

発表の場の提供、文化部の活動への関心を高めることにより裾野の拡大、他校との交流を促進

■対象

県内の高校文化部に所属する高校生

■内容

従来の神戸での終日イベントに加え、R8よりサテライト会場を設置
⇒「メイン会場（神戸）」＋「**サテライト会場**」（拡充）

■R7実績

文化部高校生によるステージ発表・ブース展示

- ・ 日時：令和8年1月31日（土）12時～17時
- ・ 場所：神戸ハーバーランド・スペースシアター
- ・ 参加：17分野20校（来場者約3,500人）
- ・ 内容：

【メインステージ】吹奏楽、琴、弦楽、落語、ジャズバンド、バトントワリング、マーチング等

【ブース展示】折り紙、キノコ、鉄道研究、漫画、写真、美術、サブカルチャー等

【置ステージ】書道、将棋、いけばなの実演・体験



【落語】



【バトントワリング】

③ 【新】 わくわく・きらきらアート体験教室

(12,000千円) 【R8～】

■趣旨・目的

芸術文化活動に参加するきっかけづくりのため、「子ども伝統文化わくわく体験教室」を他の芸術分野にも拡充

- ・「伝統文化」(いけばな等) + 「他分野」(器楽等)
- ・小・中・高・特別支援学校で年間100校程度を想定

■分野

わくわく：いけばな・茶道・書道・琴・日本舞踊・能狂言
きらきら：演劇・工芸美術・日本画・器楽・短歌・吟詠等

■対象 小学生、中学生、高校生

■内容 県域文化団体等への補助

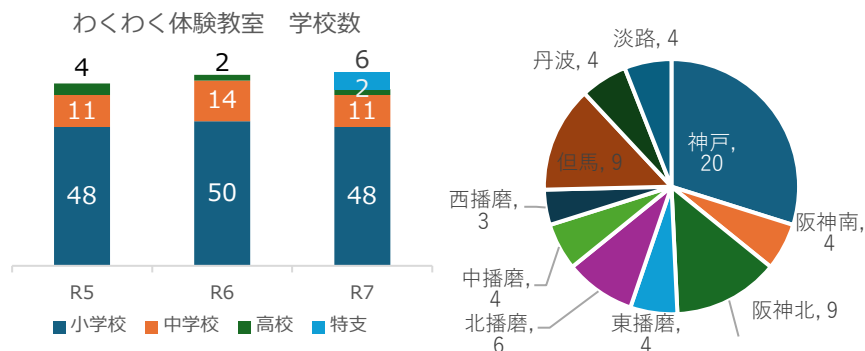
(1回開催80千円、2回開催120千円/校、3回開催160千円/校)

■件数 (R8予定)

わくわく：58件 (小41件・中11件・高0件・特支6件)
きらきら：32件 (小23件・中6件・高0件・特支3件)

■R7実績 (子ども伝統文化わくわく体験教室のみ)

【参加者】2,976人 (小2,302人・中479人・高74人・特支121人)



④ 【新】 アートで体験プレミアム広場

(2,000千円) 【R8～】

■趣旨・目的

- ・芸術文化発表の場の創出
- ・子どもの芸術文化に触れる機会提供

※伝統文化の魅力を実演、体験コーナーにより県民に紹介する
「伝統文化ふれあい広場」をリニューアル

■分野

「伝統文化」(茶道等) + 「他分野」(音楽・演劇・工芸等)

■内容

県公館を2日間解放し、芸術文化団体の協力のもとイベント方式で実施(想定来場者：約2千人)

分野	伝統文化各分野
	・能・狂言の実演 ・いけばな等の体験コーナー ・各展示ブースなど
	(従来の「伝統文化ふれあい広場」)



伝統文化以外

- ・音楽、演劇、ダンス、美術等の実演・体験
 - ・学生等によるパフォーマンス
 - ・県公館の魅力を活かした写真コンテスト
- (今回新たに追加する内容)



イメージ (音楽)

⑤ 芸術文化活動機会促進事業

(6,280千円)

【H17～】

■趣旨・目的

- ・県内を拠点とする芸術家の活動を支援
- ・県下各地で県民が身近に芸術文化に親しめる環境の充実

■分野

- ・音楽、演劇、舞踊等の舞台公演
- ・美術や生活文化の作品展示、メディア芸術の発表
- ・文芸（美術）作品出版事業

■対象 県内に活動拠点を有する個人・グループ

■補助額

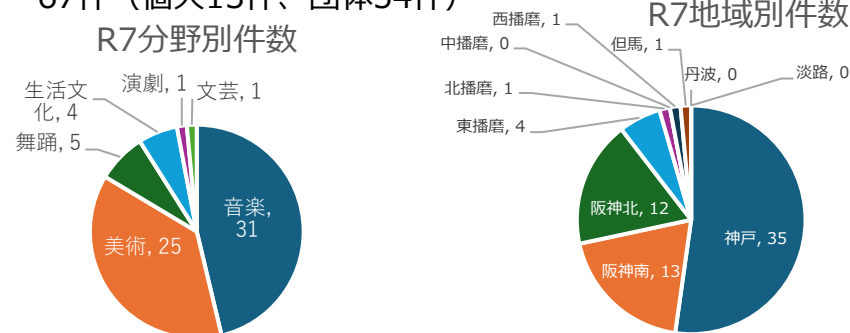
対象経費に応じて、
30千円、50千円、100千円、150千円（定額）

■件数（R8予定）

71件（個人13件、団体58件）

■R7実績

67件（個人13件、団体54件）



⑥ 県域文化団体の活動支援事業

(9,600千円)

【H2～】

■趣旨・目的

- ・芸術文化団体等の実施事業を支援し、活動の活性化を促進
- ・県民の芸術文化の鑑賞・発表の機会を増やし、芸術文化活動の裾野を拡大

■分野

- ①芸術文化事業（舞台公演、展示、出版）
- ②アウトリーチ事業（体験教室）

■対象 県域文化団体

■補助額

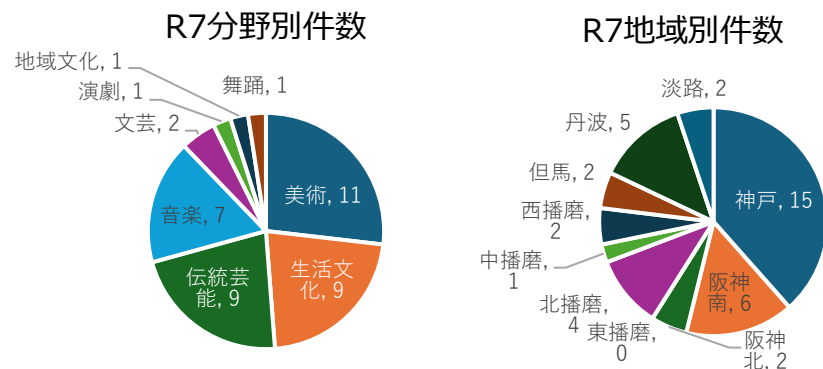
- ①芸術文化事業（1/2補助。300千円上限）
- ②アウトリーチ事業（1/2補助。120千円上限）

■件数（R8予定）

31件（①27件、②4件）

■R7実績

30件（①26件、②4件）



2 創造と普及

(1) 鑑賞体験機会の提供、芸術活動への支援

⑦ 県民芸術劇場 (24,099千円) 【S60～】

■趣旨・目的

- ・子ども・若者世代を中心に、音楽、演劇などの優れた舞台芸術の鑑賞機会・芸術文化体験機会を県民へ提供
- ・県内の舞台芸術団体等の育成、公立文化施設の活性化を促進

■分野

音楽、オーケストラ、室内楽、器楽、バレエ、演劇、ミュージカル、オペラ、舞踊、能、狂言、人形浄瑠璃など

■対象 小学生、高校生、一般

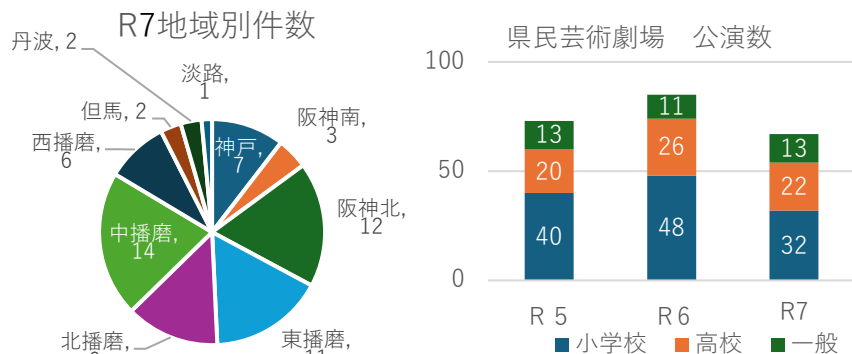
■内容 出演団体の公演経費に対し、県1/2 市町等1/2負担 (上限：小学校225千円・高校460千円、一般1,000千円)

■件数 (R8予定)

60件 (小28件・高23件・特支1件※・一般9件) ※高校との合同開催

■R7実績

【鑑賞者】 30,937人 (小12,130人・高13,895人・一般4,912人)



⑧ 地域で親しむ舞台芸術応援事業

(17,000千円) 【R7～】

■趣旨・目的

- ・地域間格差の解消にむけ、市町ホール利用率が7割未満である地域(神戸・阪神以外)を重点地域として設定
- ・市町・民間ホールが主催する自主公演事業等を支援

■分野 一般公開の音楽・演劇・伝統芸能等の有料公演

■対象 自主事業：県内文化施設(市町ホール等)の設置者 貸館事業：公演を主催する団体・実行委員会

■内容

重点地域 公演料(出演料、設備使用料等)に対し1/2補助
その他 公演料(出演料、設備使用料等)に対し1/4補助

補助上限	重点地域	その他地域 (神戸、阪神)
自主事業	100万円	50万円
貸館事業	50万円	25万円

■件数 (R8予定)

46件 (重点・自主7件、重点・貸館11件、その他・自主3件、その他・貸館25件)

■R7実績

44件 (重点・自主7件、重点・貸館7件、その他・自主4件、その他・貸館26件)

① 県民文化普及事業 ～ふれあい文化の祭典～ (23,028千円) 【H1～】

県民に多彩な芸術文化活動の成果発表と身近な場所で芸術に親しむ機会を提供し、地域文化の裾野を広げるため、県域文化団体、県、市町等が一体となって県内各地域で展開

- ・実施手法：各事業別実行委員に委託（全22事業）
- ・参加人数：約25,000人（R7実績）



ひょうご日本民謡フェスティバル



民俗芸能祭



兵庫県交響楽祭



音楽とダンスの祭典in Hyogo



ふれあい美術展

② 市町との連携

市町との連携を強化するため、市町の芸術文化担当課との情報交換会を開催する。県内芸術文化担当者間で、県内芸術文化の振興における課題やノウハウを共有し、さらなる発展のための効果的な施策展開と連携強化を図る。

令和8年度は、昨年度のビジョンの改定を踏まえ、

① 若者の芸術文化活動への支援

② 市町を超えた連携強化 をテーマとする。

○ 開催概要案

・ 参加者

県：芸術文化課、社会教育課、文化財課

市町：県内市町（41市町）の芸術文化・社会教育等担当課

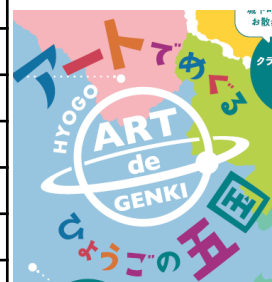
・ 会 場 県庁周辺会議室、県立の芸術文化施設 等

③ アートde元気ネットワークひょうご (800千円) 【H26～】

県内の代表的な7芸術祭をネットワーク化し、共通PR等を実施

- ・参加人数：約15万人（R7実績）

地域	2026芸術祭
神戸	神戸六甲ミーツ・アート2026 beyond (8～11月)
	下町芸術祭2026 (秋頃を予定)
但馬	豊岡アートシーズン 2026 (4～3月)
	第32回公募展 木彫フォークアートおおよ (9月)
	あさご芸術の森アートフェスティバル (10、11月)
丹波	丹波篠山・まちなみアートフェスティバル2026 (9月)
淡路	IKUHART PROJECT 2026 (通年)



① 新進・若手アーティスト等の支援

(9,499千円) 【H18～】

※R7より開催場所を県民会館から変更

	ひょうごアーティストサロン	ミュージアムコンサート	リサイタルシリーズ
趣旨	県内の新進・若手芸術家の要望に応じて、専門の芸術文化コーディネーターがアドバイス等を行うサロンを設置	県内のアーティストのコンサート等、活動発表の場を提供するとともに、県民への鑑賞機会を提供	県内の新進・若手アーティスト等のリサイタル等、活動発表の場を提供し、支援
場所	神戸情報文化ビル2階	横尾忠則現代美術館オープンスタジオ等	県立芸術文化センター小ホール
回数	R7相談件数：200件	R7：18回 R8：28回（予定）	R7：5回 R8：8回（予定）



② 表彰

(6,845千円)

	兵庫県文化賞	ともしびの賞	芸術奨励賞
開始年度	昭和23年	昭和50年	平成5年
対象	県民文化の高揚に顕著な貢献をした個人・団体	地域において強度文化の向上に貢献し、その課都度と功績が顕著な個人・団体	芸術分野における政策活動で優れた実績をあげ、かつ将来一層の活躍が期待される新進・中堅の芸術家等
R7受賞者(延べ)	個人5件 (468件)	個人17件 団体4件 (996件)	個人3件 (161件)

R7年度 兵庫県文化賞・芸術奨励賞等表彰式
(R7.11.13)

3 施設運営

芸術文化施設の運営（全体像）

芸術文化の創造・発信拠点として、兵庫陶芸美術館、芸術文化センター、尼崎青少年創造劇場（ピッコロシアター）、県立美術館王子分館（原田の森ギャラリー・横尾忠則現代美術館）を運営し、様々な芸術文化事業を展開。

		陶芸美術館	芸術文化センター	ピッコロシアター	県立美術館王子分館	
					原田の森ギャラリー	横尾忠則現代美術館
所 在		丹波篠山市今田町	西宮市高松町	尼崎市南塚口町	神戸市灘区原田通	
開 館		H17.10～	H17.10～	S53.8～	H14.10～	H24.11～
運 営		(直営)	指定管理(芸術文化協会)	指定管理(芸術文化協会)	指定管理(芸術文化協会)	
予 算 (R8当初)		210百万円	1,638百万円	352百万円	169百万円	
内 訳		施設維持管理費 (人件費を含む) 110百万円 展覧会開催 85百万円 地域連携 等事業費 15百万円	施設維持管理費 (人件費を含む) 933百万円 公演事業 375百万円 付属交響 楽団運営費 330百万円	施設維持管理費 (人件費を含む) 144百万円 劇団運営費 203百万円 演劇学校 等事業費 5百万円	施設維持管理費 (人件費を含む) 122百万円 展覧会開催経費 44百万円 作品保管等業務費 3百万円	
R7入館者		55,809人	689,989人	106,910人	194,554人	
推移		入館者数推移 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 114,660 51,058 113,799 85,578 82,554 66,457 55,809	ホール利用率/入館者推移 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 704,317 222,962 476,771 633,028 663,274 698,612 689,989 92.4% 81.5% 91.1% 95.8% 97.0% 97.5% 95.9%	ホール利用率/入館者推移 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 118,729 29,120 58,300 76,849 98,616 110,950 106,910 91.4% 72.6% 85.5% 90.4% 92.7% 92.0% 92.0%	ギャラリー利用率/入場者推移 H31 R2 R3 R4 R5 R6 R7 204,460 83,469 145,252 189,208 190,627 198,252 194,554 89.5% 48.9% 80.6% 89.4% 91.5% 91.8% 92.4%	

① 多彩な展覧会の開催

古陶磁器や現代陶芸作品の鑑賞機会を提供するとともに、兵庫県のやきものの伝統と文化を次世代に継承

ア 今年度の展覧会

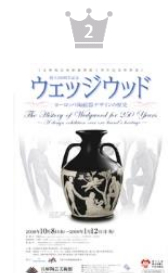
こども学芸員とつくる 「夏のこども美術館」 (R8.6.27～9.6) 	ゲンダイトウゲイ*ミニ*クロニクル ーやきものはアートだ！ー (R8.9.19～11.23)  おいしいやきもの ー酒と醤油と料理のうつわー (R9.3.27～6.6) 
--	---

イ これまでの特別展鑑賞ベスト5

	展覧会名	期間	人数
1	マイセン陶器の300年	H23.9～11	28,710人
2	ウェッジウッド ーヨーロッパ陶磁器デザインの歴史ー	H20.10～ H21.1	27,159人
3	北大路魯山人展	H22.3～5	22,221人
4	バーナード・リーチ展	H18.3～5	22,015人
5	ザ・フィンランドデザイン	R3.9～11	21,815人



マイセン磁器の300年

ウェッジウッド
ーヨーロッパ陶磁器デザインの歴史ー

北大路魯山人展

② 学校との連携

立杭 陶の郷ともタイアップし、展覧会見学や創作活動等を実施



【R7年度実績】
展覧会見学
小学校他 27校
参加人数 2,240人

③ 地域との連携

文化観光振興拠点計画に基づき「丹波焼の郷」(丹波立杭協同組合、陶芸美術館など)として地域一体となって誘客を促進



FP:「日本六古窯」丹波焼の里を訪ねる

④ 大規模修繕の実施

開館から20年が経過し老朽化などが発生した箇所(外壁、天井、ウッドデッキ、空調設備など)について、令和6～8年度からの3か年で計画修繕を実施

休館期間:

2026年11月末～2027年3月末(予定)



ウッドデッキ工事

道の駅「こんだ薬師温泉ぬくもりの郷」の整備

丹波焼の郷周辺の観光施設「こんだ薬師温泉ぬくもりの郷」が道の駅として、令和8年度オープンを目指し整備中。相乗効果での誘客を図る。



① 佐渡裕芸術監督によるプロデュースオペラ【H17～】

幅広いパ・ラファンの獲得・定着をめざし、8回のワンオペラ公演を毎年実施

ア これまでの公演

計**20**作品 **192**公演 累計入場者 **344,025**人

【直近の公演演目】

R3 メリーウィドウ R4 ラ・ボエーム
R5 ドン・ジョバンニ R6 蝶々夫人
R7 さまよえるオランダ人

イ R8年度の公演

演目：歌劇「カルメン」

日程：R8.7.17～7.20, 22～26

世界中で人気オペラの筆頭に挙がるビゼーの傑作。壮大でドラマティックな舞台を最高の劇場空間で堪能



芸文センター累計公演入場者数： 累計 **950万人** (R8.3)

ネーミングライツ料の増額 (R8～)

各パートナー企業と交渉し今年度の契約から増額

～R7：5,000万円 → R8～：6,000万円 (+1,000万円)



② 兵庫芸術文化センター管弦楽団(PACオーケストラ)事業

国内外からオーディションで結集した若手演奏家によるオーケストラ

【楽団構成】

芸術監督：佐渡裕
レジデント・コンダクター：岩村力
コンサートマスター：田野倉雅秋、豊嶋泰嗣
コアメンバー：14パート41人 (平均年齢26.0歳)



ア 定期演奏会

- ・古典名曲から現代音楽まで幅広いプログラム
- ・1シーズン**9**回
- ・会員数 4,142人
- ・楽団事業平均公演入場率**90%超**



イ わくわくオーケストラ教室

- ・県内の**中学1年生(全員)**
(年間40公演 R7:384校 **45,097**人)
- ・小学校はアウトリーチ
(R7年度実績:21校23回 **1,052**人)



③ 芸術文化センターあり方の検討(R7)

『最も成功している公立ホール』としての実績と高い評価を誇る同センターについて、次の20年に向け継続・発展させるための取組などを昨年度検討。当該検討に基づきセンターの活性化を促進。

1 新たなファン層の獲得

「若者・Z世代」や「ファミリー層」へのアプローチとしてSNSの有効活用や地元企業とコラボしたオリジナルグッズ作成などにより、新たなファン層を開拓。

2 新たな財源の獲得

「チケット代等の値上げ」に加え、「寄付等幅広い支援」の促進により、コスト上昇分の確保をめざす。

① 県立ピッコロ劇団 【H6～】

劇団代表：岩松了 俳優：34人
(男16人、女18人) (平均年齢39.1歳)

ア 主な公演（R8年度の予定）

オフシアター「おかしな二人～女性版～」	R8.4.10～12	
第85回公演「走る本屋と星降る島」 ※わくわくステージあり	R8.5.29～31、 6.6～7	
ファミリー劇場 「《不思議の国のアリスの》帽子屋さんのお茶の会」 ※わくわくステージあり	R8.8.1～2	
第86回公演「カフェ・リバーサイド」	R8.9.18～20	
第87回公演「九鬼家の茶碗（仮）」	R9.2.12～14	

イ ワークショップなどによる演劇指導

地域の学校や団体と連携し小・中・高校生向けのワークショップや劇づくりの支援、地域課題にあわせたワークショップを行う。教員や企業社員、自治体職員向けに演劇の手法を活かした研修なども実施



劇団員紹介



森 好文(59)
劇団立上げ当初(H6)より所属
シンポジウムなどを通じ、被災地激励活動の経験を次世代の演劇人につなげる活動を実施
第85回公演「走る本屋と星降る島」など多数出演



菅原 ゆうき(34)
平成26年度入団
ピッコロ演劇学校の主任講師を務めるほか、外国人の地域参加を支援するワークショップの講師など社会包摂についての研修や公演を行う
第82回公演「新天地へ」など多数出演



谷口 遼(32)
令和2年度入団
ピッコロ演劇学校や高校での演劇指導講師、ワークショップ講師などを務める
第85回公演「走る本屋と星降る島」など多数出演



有川 理沙(28)
平成30年度入団
ピッコロ劇団での演劇指導などに加え、USJ Halloween Horror Nightsダンサーやモデルとしても活動
R8ファミリー劇場「《不思議の国のアリスの》帽子屋さんのお茶の会」など多数出演

② 人材育成 【S58～】

「ピッコロ演劇学校」、「ピッコロ舞台技術学校」を運営し、地域文化の担い手を育成（卒業生累計**3,041人**）

【R8年度】

区分	人数	内容	主な進路
演劇学校	本科	演劇創造	地域での演劇活動、劇団スタッフ、学校の演劇部顧問
	研究科		
舞台技術学校	24人	音響・照明・美術	舞台関係や文化施設スタッフ

③ 劇場の利用 【S53～】

ア ピッコロ鑑賞劇場

0～3歳児と保護者を対象にしたベビビー・プログラム、文学座公演、ピッコロ寄席など優れた舞台芸術を提供
(R7実績：9事業・12公演・**2,798人**入場)

イ ピッコロフェスティバル

地域で創造活動に取り組む若者等の演劇、音楽などの成果発表と交流の場として、施設を無償提供
(R7実績：R7.7.31～8.31 37団体・567人出演・**2,812人**入場)

社会包摂への取組

○ワークショップ にほんごであそぼう！

(北播磨地域での在留外国人の地域コミュニティ支援)

○多様なアクセシビリティに配慮した鑑賞サポート

(バリアフリー字幕付き公演、音声ガイド付き公演など)

○取組への評価

- ・R4年度「日本アートマネジメント学会賞」受賞
- ・R6年度「草の根国際功労賞」受賞
- ・R6年度「内閣府特命担当大臣表彰優良賞」受賞

※バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰

- ・R7年度「貝原俊民美しい兵庫づくり賞」受賞



にほんごであそぼう！



内閣府特命担当大臣表彰

① 原田の森ギャラリー

ア 利用率推移（貸館利用）

		H31	R6	R7
本館	1階（600㎡）	88.9%	92.5%	91.5%
	2階（1300㎡）	85.9%	90.8%	86.3%
東館	1階（230㎡）	94.8%	96.4%	97.1%
	2階（240㎡）	88.2%	87.6%	94.8%



本館 2Fギャラリー



東館 1Fギャラリー

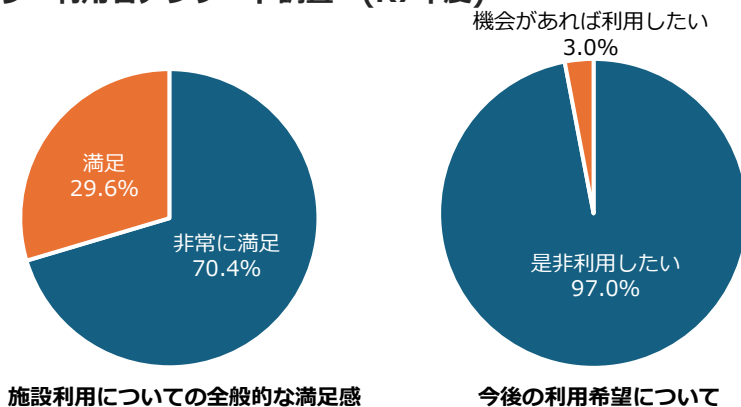


障害者アートギャラリー

イ 利用者数推移

	H31	R6	R7
利用者数（人）	148,935	146,499	145,954

ウ 利用者アンケート調査（R7年度）



② 横尾忠則現代美術館

ア 令和7年度企画展

展覧会名	期間	観覧者数
横尾忠則の肉体派宣言	R7.5.24～8.24	7,889人
復活！横尾忠則の髑髏まつり	R7.9.1～12.28	9,348人
大横尾辞苑 これであなたもヨコオ博士!?	R8.1.31～5.6	9,206人
計		26,443人

イ R8年度企画展

展覧会名	期間
横尾忠則 連画の河	5/23～8/30
Curators in Panic 2 ～横尾忠則展 学芸員危機2髪？	9/19～12/27
横尾忠則のビフォー／アフター	1/30～5/5

《連画の河2》
2023年 作家蔵

③ 旧県民会館

昨年度策定した「新庁舎等整備プロジェクト基本構想」の中で、新庁舎に『旧県民会館の機能を継承する芸術文化や多様な県民活動を支える交流機能を整備する』旨を記載。

今年度は、ホール・ギャラリーなどの具体的な機能について専門家の意見などを踏まえ検討を進める。

区分	旧県民会館から継承する機能	
	規模等	考え方等
ホール	400㎡程度	多目的ホールを1ホール
ギャラリー	300㎡程度	中規模(小規模×3)の展示室を1室 ※移動壁などで分割する事で小規模のニーズにも対応